

## 懇親会

講演会に引き続き、講師の高山政信氏、矢内一好氏を囲み、懇親会を開催いたします。意見交換、名刺交換の場として、お気軽にご参加くださいますようお願い申し上げます。

日時 2017年7月1日(土)  
17:30~(講演会終了後)

会場 中央大学駿河台記念館370号室

会費 3,000円

◇懇親会参加希望者は、住所・氏名・電話番号を明記の上、企業研究所宛にFAX 042-674-3278またはE-mail kigyoken@tamajs.chuo-u.ac.jpでお申し込み下さい。(会費は当日、講演会会場受付にてお支払い下さい。)

問合せ：中央大学企業研究所  
Tel 042-674-3272 Fax 042-674-3278  
E-mail kigyoken@tamajs.chuo-u.ac.jp

## 会場案内図

### 駿河台記念館

東京都千代田区神田駿河台3-11-5

☎03-3292-3111



### 交通案内

- ・JR中央・総武線 御茶ノ水駅下車、徒歩3分
- ・東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅下車 (B1出口)、徒歩3分
- ・都営地下鉄新宿線 小川町駅下車 (B5出口)、徒歩5分
- ・東京メトロ丸の内線 御茶ノ水駅下車、徒歩6分

駿河台記念館へのアクセスは、下記HPをご利用ください。  
<http://www.chuo-u.ac.jp/access/surugadai/>

## 中央大学企業研究所 公開講演会

● 講演会統一テーマ ●

カネのグローバル化を考える  
— 国際税務の視点から —

● 日 時 ●

2017年7月1日(土) 14:00~17:00

● 会 場 ●

中央大学駿河台記念館281号室  
(聴講無料・事前申込不要)

主 催

中央大学企業研究所

〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1

TEL 042-674-3272

FAX 042-674-3278

E-mail kigyoken@tamajs.chuo-u.ac.jp

後 援

南甲倶楽部・中央大学学員会

C-Com.21 (中央大学商学部OG・OB会)

## ご挨拶

今日、日本企業のグローバル化が進んでいる。

例えば、日本企業の海外生産比率を見ると、プラザ合意の1985年には全法人ベースで5%未満だったのが、2012年には20%（海外進出企業に絞ると30%）を超えるまでに至っている。この傾向は、a. 国内市場の飽和と海外市場の拡大、b. 地産地消に基づく最適地生産、の流れの中で、さらに増してくると考えられる。

こうして世界に日本の製品（モノ）が普及し、日本のビジネスパーソン（ヒト）が活躍することになるが、このようなモノやヒトのグローバル化は、カネのグローバル化と密接に結びついている。海外で工場を建設したり現地企業を買収するためには直接投資が必要であるし、現地法人の社員に給与も支払わなければならない。その結果、現地日本法人にとっても、当該法人社員にとっても、国際税務の問題が重要となってくる。

特に、企業にとっては、移転価格やタックス・ヘイブンなどの戦略の検討は、非常に重要である。個人にとっては、社員というよりむしろ富裕層による租税回避の海外資産移動などが問題となっている。

今回の公開講演会では、このようなカネのグローバル化に焦点を当て、国際税務の視点から縦横無尽に切って頂きます。まず矢内先生から、国際税務の歴史的流れを理論的に分析頂き、続いて高山先生から、実際に海外進出する日本企業の実務に即した実践的戦略を説明頂きます。奮ってご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

2017年6月吉日

中央大学企業研究所所長 三浦 俊彦

## 講演会プログラム

14:00～14:10 開 会

開会の挨拶

三浦 俊彦

(企業研究所所長、商学部教授)

司 会

斎藤 正武

(企業研究所研究員、商学部准教授)

14:10～17:00 講 演

### 「国際税務の過去・現在・未来」

矢内 一好 氏

(企業研究所研究員、商学部教授)

ファシリテータ (質疑司会) 上野 清貴

(企業研究所研究員、商学部教授)

### 「実務的観点からみた海外進出の税務」

高山 政信 氏

((株) TAX LABO代表取締役、経理研究所税務会計講座講師)

ファシリテータ (質疑司会) 酒井 克彦

(企業研究所研究員、商学部教授)

17:00～17:10 閉 会

閉会の挨拶

斯波 照雄

(企業研究所研究員、商学部教授)

## 講演者プロフィール (講演順)



矢内 一好 (やない かずよし)

〈学 歴〉

1974年 中央大学大学院商学研究科修士課程修了

〈経 歴〉

1975年から1990年まで東京国税局勤務。退職後、産能短期大学助教授、日本大学商学部助教授、教授を経て、2002年から中央大学商学部教授（現在に至る）。他に、国税庁税務大学校講師、専修大学商学研究科非常勤講師、慶應義塾大学法学研究科非常勤講師。

〈主要著書〉

『コンパクト解説日本とヨーロッパ・中東・アフリカ諸国との租税条約』（財経詳報社、2016年、単著）

『一般否認規定と租税回避判例の各国比較～GAARパッケージの視点からの分析』（財経詳報社、2015年、単著）

『租税条約の論点』（中央経済社、1997年、単著）他多数執筆



高山 政信 (たかやま まさのぶ)

〈学 歴〉

1976年 学習院大学法学部卒業

〈経 歴〉

1976年から2001年まで東京国税局勤務。退職後、税理士登録（主として国際税務に関する税務相談）。2013年から（株）TAX LABO（海外進出支援及び国内進出支援）代表取締役（現在に至る）。

〈主要著書〉

『出国税と国外財産調査等の実務』（新日本法規出版、2016年、共著）

『国際税務総覧2016-2017』（財経詳報社、2016年、共著）

『国際税務に強い税理士になる本』（中央経済社、2015年、共著）

『国際税務ガイドブック』（財経詳報社、2013年、単著）

他多数執筆